

ファイランソロपी協会 15周年記念総会

10月22日(金)、YMCAファイランソロピー協会設立15周年記念総会がKKRホテル熊本で開催されました。2011年度総会では、2010年度の事業報告や決算報告、新年度の事業方針計画・予算案など各議案について提案があり、承認されました。

続く設立15周年記念パーティーは、ヴァイオリン&ピアノデュオ「ORANGE」による演奏で幕を開けました。音楽に乗せスクリーンに映し出された数々の写真を通して、15年にわたる足跡を振り返りました。

その後、15周年を記念し、ファイランソロピー活動の推進に寄与した4企業・団体と1名に感謝状と表彰状が贈呈されました。続いて、熊本日日新聞社専務取締役の田川憲生さんが会員企業を代表し「企業の社会貢献活動を通して、地域社会の発展へ向けさらにファイランソロピーの輪を広げていきたい」と挨拶。会員企業をはじめ15年間に携わった面々が親睦を深めながら、15年の節目を祝いました。



協会設立15周年に寄せて

全国に先駆けてスタートした、地元企業が連携して社会貢献に取り組む活動。暗中模索の中、高い志のもとに集い、活動を牽引してこられた方々に、当時の様子や思い出、今後に寄せる期待などをうかがいました。

**元幹事／熊本トヨタ自動車
奥村 誠樹さん**

一番の財産となったのは各企業の役割に関係なく、「さん」付けで呼び合い、同じテーブルで様々な話ができたことです。活動以外での

**元幹事／熊本日日新聞社
川本 浩右さん**

立ち上げ時は「ファイランソロピー」という言葉を誰も知らず、手探り状態でした。しかし、幹事全員が「いいことだから自分たちの力

**元幹事／城野印刷所
今村 真一さん**

活動に参加して、様々な企業の方が崇高な意識、熱い思いを持って取り組まれる姿に、まず感動しました。誰もが気軽にボランティア

**元事務局／熊本YMCA職員
依田 智義さん**

企業とYMCAの前例のない「コラボレーション」に、皆さんが積極的に協力してくださって、今につながる活動を築きました。Y

**現幹事／肥後銀行
縄田 聡子さん**

協会活動を通じて、職業も立場も年齢も違う方々とふれあい、自身の視野が広がり、心にゆとりが生まれました。一人にできるこ

個人的な付き合いも生まれ、また、社内で呼びかけて参加した人からは社会貢献ができて充実感が得られると喜ばれました。年間活動の一つでもいいので、多くの企業に参加してもらえればと思っています。

で広めよう」と、企業の枠を超えて地域の役に立ちたいという思いで、一つずつ議論して決めていきました。「自分には何ができるか」を考える自主性が個人に生まれ、さらなる活動の広がりを期待しています。

アに参加できる仕組みはとても素晴らしいと思っています。さらに、社内から参加した人の「楽しかった」という声を聞くたびに、ボランティアについて学んでもらえたという喜びも感じることができました。

YMCAが持つ情報やノウハウを提供することで、多くの方にボランティアに関心を持ってもらえたと感じています。節目の年にこれまでの活動を見つめ直し、新しい取り組みが始まることを期待しています。

とは限られていますが、企業を通じて協会活動に参加することで「わたしにできること」の幅が広がり、自分自身も成長できる...こそが、YMCAファイランソロピー協会が全国に誇れる強みではないでしょうか。

大きな声で、 明るく元気に！ 「歌声広場わいわい」

団塊の世代の方々を中心に、音楽という楽しみを共有できる交流の場を設けようと、2007年にスタートした「歌声広場わいわい」。現在、中央、むさし、東部、みなみの各YMCAで月に1回(参加費500円)開催されており、10月には通常100回を超えました。

司会進行は、ギター担当の小山哲夫さん。当時の時代背景などをユーモアたっぷりに話されると会場からは笑い声が。毎回、唱歌や童謡、フォークソングなど、昭和20～50年代の18曲程度が用意されま

す。特に皆さんの青春時代の曲が始まると歌声も一層大きくなる。コーラスは他の方に気を遣うし、カラオケは一人ずつ。ここでは好きなように、大勢で唄って気持ちがすっきりします。「下手でも関係なく大きな声が出せ、健康にいいですよ」と、参加者。11月20日(土)には、一泊二日で100回記念の「歌声広場 in 阿蘇」が開催される予定です。



REPORT Event

日韓医師によるサッカー交流 鹿児島で開催

開催期間/2010年10月2日(土)～3日(日)
開催場所/鹿児島県立吹上浜海浜公園
熊本YMCA・韓国大邱(テグ)YMCAの少年サッカーチームによる32年前の交流をきっかけにスタートした、日韓YMCA医師蹴球親善試合が開催されました。あいにくの雷雨に見舞われ開始15分後、試合が一時中断されるハプニングがあったものの、熱戦の結果、大邱チームが2-0で勝利を手にしました。さらに今回は、日韓混成チーム対地元鹿児島チームとの対戦もあり、参加者は再会を喜び合いながら交流を深めました。



韓国大邱で職員研修

訪問した大邱YMCA幼稚園と城西保育園では韓国独自の特色を知ることができました。幼稚園では退職した先生やYMCAプログラムの受講生がボランティアで園児に礼儀作法や英語を教える活動を行っており、一番印象深かったのは先生が園児の自宅を訪ねるのではなく、園児が担任の家に一泊することでした。幼稚園・保育園では共通して、自然



にふれあうプログラムや親子参加型の保育行事を増やしているそうです。訪問先では、手遊びを通して交流することができました。

YMCA水前寺幼稚園
櫻間博継